

## 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 平成 28 年度横浜市特区リーディング事業助成の 交付対象事業(3 事業)が決定しました！

横浜市は、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区において、健康長寿の延伸や患者負担の軽減などの社会課題の解決に貢献するとともに、ライフサイエンス産業の発展に向けた取組を推進しています。このたび、平成 28 年度の「横浜市特区リーディング事業助成金」の対象事業として「iPS 細胞由来神経細胞を用いた創薬支援アプリケーション開発」他、計 3 事業を決定しました。

### 交付対象事業

事業名	<b>iPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援アプリケーション開発</b>		
事業内容	パーキンソン病等の神経疾患の創薬を目標とする製薬企業が、医薬品候補となる物質の評価を簡便に行うことが出来るiPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援アプリケーション(細胞の状態を観察できる機器と培養したiPS細胞由来神経細胞を組み合わせた、医薬品候補物質の効果を評価するための機器)を開発します。		
参画団体	株式会社リプロセル(申請企業)、順天堂大学医学部、慶應義塾大学理工学部		
交付予定額	23,989 千円	対象事業期間	平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 10 日
事業名	<b>革新的な後眼部治療用リポソーム製剤の移行性評価と製剤安定性の向上</b>		
事業内容	加齢黄斑変性症等の後眼部疾患の治療において、従来の眼内注射による患者QOL低下や高額な薬剤費負担の解消を目標に、リポソーム製剤(脂質で構成される微小カプセルに薬剤を封入したもの)を点眼薬として使用するための開発の検証に必要な、薬物の体内での移行性評価及び、防腐を含めた製剤の安定性の向上等に関する研究を実施します。		
参画団体	株式会社バイオメッドコア(申請企業)、岐阜薬科大学薬効解析学研究室、製剤学研究室		
交付予定額	12,056 千円	対象事業期間	平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 10 日
事業名	<b>血中アミノ酸プロファイルを用いた革新的がん診断技術に関する前向きコホート研究</b>		
事業内容	本特区が目指す個別化・予防医療実現に資する健康情報等データベース構築に関する事業として、横浜市立大学の消化器内科らと産学連携により進める血液中のアミノ酸分析に基づくがんリスク評価法であるAICS®の前向きコホート研究(受診者のがん罹患リスクと検査後のがん発症を追跡調査し、検査精度の解析)を実施します。		
参画団体	味の素株式会社(申請企業)、横浜市立大学医学研究科・消化器内科学		
交付予定額	7,506 千円	対象事業期間	平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 10 日

### 【参考】 特区リーディング事業助成金

特区の目的である『個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出』に寄与し、特区の支援措置の活用を目指す事業を対象とした市独自の助成制度です。(平成 28 年度予算額:6,200 万円)

#### ○助成率、助成限度額

区分	助成率	1 申請あたりの助成限度額※ <sub>2</sub> (過去の助成との合計限度額)
市内中小企業※ <sub>1</sub>	対象経費の2/3以内	50,000 千円 (100,000 千円)
その他の企業	対象経費の1/2以内	

※<sub>1</sub> : 中小企業とは、中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項に定める中小企業者をいう。

※<sub>2</sub> : 1,000 円未満切り捨て。

#### お問合せ先

経済局成長産業振興課 特区推進担当課長 伊藤 敏孝 TEL : 045-671-3591

※本件は、経済記者クラブにも同時発表しています。